

## 第9回船橋市入札監視委員会議事概要

1. 日 時 平成20年5月16日（金） 午後2時30分～午後5時00分
2. 場 所 船橋市役所6階入札室
3. 出席者 〈委員〉 片岡寛委員・小泉俊雄委員・宮澤潤委員（全員出席）  
〈事務局〉 山崎財政部長・小川契約課長ほか契約課職員4名  
〈工事担当課〉 湯浅下水道部長・中山建築部長・山本道路部長・川合中央卸売市場長・高仲下水道建設第一課長・大滝建築課長・中村道路建設課長・仲村住宅政策課長・長岡街路課長・矢野中央卸売市場管理課長ほか工事担当課職員6名

### 4. 概 要

#### 議題1 入札及び契約手続の運用状況等の報告について

事務局より平成19年10月1日から平成20年3月31日までの間の入札及び契約手続の運用状況等について報告を行った。

#### 議題2 抽出事案の説明について

ダイレクト型一般競争入札216件・随意契約17件の合計233件の工事の中から抽出された、ダイレクト型一般競争入札4件・随意契約1件の合計5件の工事について、抽出理由の説明を行った。

#### 議題3 抽出事案の審議について

##### ① 谷津管渠布設工事（その30）《ダイレクト型一般競争入札》

##### 【主な質問・意見等】

- 落札率が99.92%以上とかなり高く、しかも1者しか応札がないのはどのような理由が考えられるか。

施工者側の理由として、2月の入札という時期的な面で、配置技術者の確保が難しく、また狭い地区で駅に非常に近接しているため現場条件、現場対応の難しさが

要因としてあるかと推測される。

- 参加要件の一つとして、経営事項審査の総合評定値が市外1200点以上、市内950点以上としているが、そこまでないと技術的に難しい工事なのか？

1200点以上は80者、市内950点は4者あり、設計図書は複数者が購入しており、点数に問題はなかった。

- なぜ2月の発注になったのか？

道路の占用承諾をとるのに時間を要した事と、谷津地区は19年度にすでに17件ほど発注しており、搬出搬入車両の重複を避けるため、多少発注時期をずらす必要があった。また、合流地域はどうしても下流から整備しなければならず、下流が終わらないと上流部はとりかかれぬという事情がある。

② 船橋市中央卸売市場大屋根吊りケーブル防食テープ改修工事《ダイレクト型一般競争入札》  
【主な質問・意見等】

- 応札業者が1者しかないのはどうしてか。

市場の屋根は特別な施設であり、市内には施工可能な業者がないため、市外総合評定値950点以上を条件にした。該当は70数社あるが、発注当時防衛施設庁や名古屋の地下鉄工事がらみで、大手の会社が相次いで指名停止になっていたこと。またケーブル構造の建物で、設計思想や工事の特殊性などから高い技術力を要する工事であったことなどが考えられる。

- どんな面でのコストがかかるのか。

橋梁等の防食にはそれを専門とする職種、職人が必要との事で、その確保の面では費用がかかったようである。

③ 船橋市総合教育センター美術研修室テラス他防水改修工事《ダイレクト型一般競争入札》  
【主な質問・意見等】

- 1月31日の入札だが、どうしてこの時期になったのか。

建築部は公共建築物、耐震建築物等全てを請け負っており、季節的に集中する工事もあり、どうしてもこのような時期になってしまう。

- 応札金額に幅がなく、今までの防水工事全体をみても、予定価格に対してみな落札率

が高いことが一般的になっているが。

積算について私どもは毎年単価表をつくっており、専門工事は特殊で経費が違う。節減もしており、設計も厳しい状況になっている事などが考えられる。

④ JR下総中山駅前広場改修工事《ダイレクト型一般競争入札》

【主な質問・意見等】

- 当初は土木で発注していたものを再発注では造園に資格要件を変更しているが、最初から土木と造園両方にはできなかったのか？

最初の段階で入札が無効あるいは応札者がいない場合は、再発注時は応札条件を変更している。基本的には応札参加条件の設定は、複合的に募ることはしていない。

- 再度発注しても1社しか参加がなかったというのは、どのような理由からか。

年度末で各業者が手持ち工事が一杯で、工事規模や現場条件などで参加可否の判断をしたことや、金額や工期などから利益率があまりないと推測したからだと考える。

⑤ 市営三山団地建替に伴う舗装修繕工事（その4）《随意契約》

【主な質問・意見等】

- 当初から舗装工事を本工事に含めて発注することは可能だったのか。

本工事は解体専門業者が請け負っており、この舗装工事は別に発注することになった。